



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年10月31日

上場会社名 クニミネ工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5388 URL <https://www.kunimine.co.jp>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 勢藤 大輔
 問合せ先責任者(役職名) 管理部長 (氏名) 長坂 裕樹 (TEL) 03(3866)7256
 四半期報告書提出予定日 2022年11月4日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・マスコミ向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	7,032	△1.6	146	△79.7	482	△39.3	252	△52.2
2022年3月期第2四半期	7,150	13.7	724	1.6	795	1.0	528	3.1

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 715百万円(6.4%) 2022年3月期第2四半期 672百万円(32.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	19.75	—
2022年3月期第2四半期	40.97	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	24,177	21,205	85.3
2022年3月期	24,848	20,978	82.5

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 20,619百万円 2022年3月期 20,505百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,300	0.3	1,100	△34.0	1,500	△21.6	1,050	△19.3	82.0

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	14,450,000株	2022年3月期	14,450,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	1,645,395株	2022年3月期	1,548,395株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	12,804,605株	2022年3月期2Q	12,901,605株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P 1
(1) 経営成績に関する説明	P 1
(2) 財政状態に関する説明	P 1
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P 2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P 3
(1) 四半期連結貸借対照表	P 3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P 5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P 7
(継続企業の前提に関する注記)	P 7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する関係)	P 7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P 7
(セグメント情報等)	P 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の当社グループを取り巻く環境は、新型コロナウイルス感染症の影響が和らぐ中で、景気は緩やかに持ち直しております。鉱工業生産は、半導体等の供給制約の緩和による自動車増産の動きも見られ、回復の兆しが見えつつありますが、急激な円安ドル高の進行、ロシアのウクライナ侵攻の長期化、欧州に端を発した資源・エネルギー価格高騰による世界的なインフレ・金利上昇への波及等、先行き不透明な状況が継続しております。

このような状況のもと、当社グループは、より一層のコストダウンへの取り組みを進めるとともに、各種コストの上昇に対しては、より付加価値の高い製品、サービスの提案、適切な価格改定を行う事で、収益確保に向けて注力して参りました。今後も、円安・インフレの進行と原油価格高騰によるコスト上昇が懸念され、予断を許さない状況が続いておりますが、引き続き原価低減と販売価格の適正化を実施してまいります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高が7,032百万円(前年同期比 1.6%減)、営業利益が146百万円(同 79.7%減)、経常利益は482百万円(同 39.3%減)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は252百万円(同 52.2%減)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① ベントナイト事業

铸件関係は、半導体不足による自動車メーカー各社の生産停止等で売上数量は減少したものの価格改定への取り組みにより、若干の増収となりました。しかしながら、急激な円安による輸入原鉱価格の上昇や各種原材料価格の高騰に価格転嫁が追いつかず、大幅な減益となりました。土木建築関係は、複数の大型工事案件で着工が延期となったことや、復興関連事業の需要が一服したこと、地熱向けの需要が減少したこと等により、減収となりました。ペット関係は、量販店向けPB商品の需要が堅調に推移し、増収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は5,335百万円(前年同期比 0.3%増)、セグメント利益は193百万円(同 73.1%減)となりました。

② アグリ事業

農薬受託加工において、特に水稲用除草剤について需要が減少したこと等から減収減益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は919百万円(同 0.8%減)、セグメント利益は32百万円(同41.1%減)となりました。

③ 化成品事業

ファインケミカル分野において、クニピアの一般工業用途としての輸出向けの需要が減少し、減収減益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は777百万円(同 14.0%減)、セグメント利益は95百万円(同 34.7%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

総資産は前連結会計年度末に比べ671百万円減少し、24,177百万円となりました。これは主に現金及び預金が1,014百万円減少したことによるものであります。

(負債)

負債は前連結会計年度末に比べ898百万円減少し、2,971百万円となりました。これは主に長期借入金を期限前に一括返済したことによるものであります。

(純資産)

純資産は前連結会計年度末に比べ227百万円増加し、21,205百万円となりました。これは主にその他有価証券評価差額金が158百万円、為替換算調整勘定が197百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の実績につきましては、売上高は前回(2022年9月16日)公表通りに推移しました。一方で営業利益、経常利益につきましては、前回公表を上回る結果となりました。詳細につきましては、本日(2022年10月31日)公表の「第2四半期業績予想と実績の差異に関するお知らせ」をご覧ください。

通期連結業績予想につきましては、前回公表からの修正はございません。但し、今後の状況の変化等により修正が必要となった場合には、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,065,909	7,051,050
受取手形及び売掛金(純額)	4,416,885	4,230,965
有価証券	2,002,652	1,517,802
商品及び製品	443,697	651,567
仕掛品	377,573	497,173
原材料及び貯蔵品	1,363,574	1,885,359
その他	110,750	130,608
流動資産合計	16,781,043	15,964,526
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,938,558	1,923,439
機械装置及び運搬具(純額)	1,827,930	1,752,406
土地	1,778,514	1,874,629
リース資産(純額)	103,407	96,374
その他(純額)	76,823	86,334
建設仮勘定	130,633	135,786
有形固定資産合計	5,855,867	5,868,970
無形固定資産	78,562	78,238
投資その他の資産	2,133,495	2,265,462
固定資産合計	8,067,925	8,212,671
資産合計	24,848,968	24,177,198
負債の部		
流動負債		
買掛金	680,289	966,285
1年内返済予定の長期借入金	100,000	—
未払金	639,593	491,533
未払法人税等	362,754	182,621
賞与引当金	150,004	142,744
その他	104,013	119,280
流動負債合計	2,036,656	1,902,464
固定負債		
長期借入金	825,000	—
リース債務	82,122	73,660
繰延税金負債	6,154	67,581
退職給付に係る負債	13,353	14,147
閉山費用引当金	581,718	590,789
資産除去債務	23,494	23,494
その他	302,027	299,586
固定負債合計	1,833,871	1,069,259
負債合計	3,870,527	2,971,723

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,617,800	1,617,800
資本剰余金	3,672,201	3,672,201
利益剰余金	16,179,707	16,045,512
自己株式	△1,375,558	△1,476,923
株主資本合計	20,094,149	19,858,589
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	335,997	494,079
繰延ヘッジ損益	5,709	—
為替換算調整勘定	69,496	266,509
その他の包括利益累計額合計	411,203	760,588
非支配株主持分	473,088	586,296
純資産合計	20,978,441	21,205,474
負債純資産合計	24,848,968	24,177,198

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	7,150,176	7,032,221
売上原価	4,886,595	5,397,819
売上総利益	2,263,581	1,634,401
販売費及び一般管理費	1,539,502	1,487,536
営業利益	724,078	146,865
営業外収益		
受取利息	1,915	16,454
受取配当金	77,595	91,419
有価証券売却益	—	110,550
為替差益	3,311	152,328
その他	17,580	10,568
営業外収益合計	100,403	381,321
営業外費用		
支払利息	2,599	1,733
コミットメントフィー	1,306	1,256
仕損費	25,495	3,206
超過保管料	—	36,931
その他	17	2,097
営業外費用合計	29,418	45,224
経常利益	795,063	482,961
特別利益		
固定資産売却益	—	4,219
特別利益合計	—	4,219
特別損失		
固定資産売却損	27	—
固定資産除却損	7,946	7,387
災害による損失	9,392	1,200
訴訟和解金	—	6,000
特別損失合計	17,366	14,587
税金等調整前四半期純利益	777,696	472,594
法人税、住民税及び事業税	205,859	173,483
法人税等調整額	15,125	19,533
法人税等合計	220,985	193,017
四半期純利益	556,711	279,577
非支配株主に帰属する四半期純利益	28,105	26,723
親会社株主に帰属する四半期純利益	528,606	252,853

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	556,711	279,577
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	45,249	158,081
繰延ヘッジ損益	△4,785	△5,709
為替換算調整勘定	75,313	283,497
その他の包括利益合計	115,777	435,869
四半期包括利益	672,488	715,446
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	622,953	602,238
非支配株主に係る四半期包括利益	49,534	113,207

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

第2四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
減価償却費	398,061千円	403,314千円

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ベント ナイト事業	アグリ事業	化成品事業	合計		
売上高						
鋳物	2,764,874	—	—	2,764,874	—	2,764,874
土木	2,182,302	—	—	2,182,302	—	2,182,302
ペット	340,226	—	—	340,226	—	340,226
ライフサイエンス	31,205	—	—	31,205	—	31,205
アグリ	—	926,647	—	926,647	—	926,647
化成品	—	—	904,919	904,919	—	904,919
顧客との契約から生じる 収益	5,318,608	926,647	904,919	7,150,176	—	7,150,176
外部顧客への売上高	5,318,608	926,647	904,919	7,150,176	—	7,150,176
セグメント間の内部売上高 又は振替高	45,686	—	37,280	82,967	△82,967	—
計	5,364,295	926,647	942,200	7,233,144	△82,967	7,150,176
セグメント利益	721,479	55,634	146,347	923,461	△199,382	724,078

(注) 1. セグメント利益の調整額△199,382千円には、セグメント間取引消去4,677千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△274,320千円及び棚卸資産の調整額70,260千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ベント ナイト事業	アグリ事業	化成品事業	合計		
売上高						
鋳物	3,005,029	—	—	3,005,029	—	3,005,029
土木	1,879,823	—	—	1,879,823	—	1,879,823
ペット	419,501	—	—	419,501	—	419,501
ライフサイエンス	30,914	—	—	30,914	—	30,914
アグリ	—	919,087	—	919,087	—	919,087
化成品	—	—	777,864	777,864	—	777,864
顧客との契約から生じる 収益	5,335,269	919,087	777,864	7,032,221	—	7,032,221
外部顧客への売上高	5,335,269	919,087	777,864	7,032,221	—	7,032,221
セグメント間の内部売上高 又は振替高	39,843	—	44,747	84,590	△84,590	—
計	5,375,112	919,087	822,611	7,116,812	△84,590	7,032,221
セグメント利益	193,999	32,748	95,596	322,344	△175,479	146,865

(注) 1. セグメント利益の調整額△175,479千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△278,523千円及び棚卸資産の調整額103,043千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。